

北見赤十字病院 形成外科選択研修プログラム

(1) プログラムの名称

北見赤十字病院形成外科選択研修プログラム（1～2年次 自由選択）

(2) プログラムの目的と特徴

1) 目的

形成外科診療の特性を学び、その知識と手技を取得する。

2) 特徴

- ① オホーツク地方センター病院として、形成外科専門医が常勤し入院病床を持つオホーツク管内唯一の病院として、多くの症例を経験することができる。
- ② 顔面骨骨折、顔面外傷の症例が多く、形成外科的処置を経験できる。
- ③ 熱傷、唇顎口蓋裂、手の先天異常・外傷、小耳症、皮膚良性・悪性腫瘍、頭頸部再建手術、瘢痕拘縮など形成外科専門医として身につける必要のある手術が多数行なわれている。

(3) プログラム責任者

藤 井 暁 （形成外科部長）

(4) 研修目標

1) 行動目標

北見赤十字病院初期臨床研修プログラムの行動目標の達成に努める。

2) 経験目標

- ① 形成外科における検査および治療の基本的な知識と手技を取得する。
- ② 形成外科的縫合を習得する。
- ③ 形成外科的抜糸および抜糸後の処置を習得する。
- ④ 簡単な腫瘍、瘢痕の切除の知識と手技を習得する。
- ⑤ 1～2度熱傷の処置を習得する。
- ⑥ 創傷治癒の知識と手技を習得する。
- ⑦ 簡単な皮弁移植、植皮の知識と手技を習得する。
- ⑧ 簡単な顔面骨骨折、軟部組織損傷の診断と治療を習得する。
- ⑨ 広範囲熱傷の処置、全身管理の知識と手技を習得する。
- ⑩ 形成外科で治療を行なう体表先天異常の知識と手技を習得する。

(5) 研修計画

1) 期間

1～2年次 自由選択期間

2) 研修の実施方法

① 病棟研修

病棟において指導医・上級医の指導のもとに入院患者を受け持ち、基本的な診察、検査、実際の手術を含めた治療法の理解、患者家族への対応方法等を研修する。

また患者の急変に際し、迅速な病態の把握と適切な対処法を学ぶ。

② 外来研修

外来において患者の病歴聴取、問診、基本的な診察、診断、治療（手術）という一連の流れを指導医のもと経験していく。

③ 救急研修

時間外の救急診療については指導医・上級医の指導のもと見学など行い、必要に応じて簡単な処置、治療の介助も行う。

④ 手術研修

指導医・上級医の指導のもとに形成外科的手術の術前管理、手術の実際、術後管理について研修する。

3) 代表的な週間スケジュール

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
午前	手術介助病棟研修	手術介助病棟研修	手術介助病棟研修	外来診療病棟研修	手術介助病棟研修
午後	外来診療	手術介助	外来診療	手術介助	外来診療

(6) 指導体制

指導医

藤 井 暁（第一形成外科部長）

江 平 まり子（第二形成外科部長）

(7) 研修の評価

北見赤十字病院初期臨床研修プログラムの規定に順ずる。